

第64号

発行日
2014. 3. 5

*Super
Highway*

スーパーハイウェイ

JR東労組バス関東本部

発行責任者：遠山 真一郎
編集責任者：中世古 俊明
東京都渋谷区代々木2-2-6
J R 新宿ビル13F
Tel03-3375-5076 (NTT)

新高速バス制度開始から7か月・・・・・・・・

北陸道 小矢部川SAで夜行高速バス 大型トラックに衝突する事故発生！



3月3日午前5時11分ころ、富山県小矢部市の北陸自動車道SA内で夜行高速バス（宮城交通）が停車中のトラック2台に激突、バス運転手と乗客の2名が死亡した。現場にブレーキ痕はなくSA手前でガードレールに2度接触していた。県警では運転手が事故直前に意識を失っていた疑いもあるとみて、遺体を司法解剖して調べている。事故後、宮城交通に国土交通省が特別監査に入ったが明らかな法令違反は見つからなかった。死亡した運転手は昨年10月に実施したSAS簡易検査で「要経過観察」と判定されたが産業医は「業務に支障はない」と判断した。バスを運行した宮城交通は実績を持つ企業であり、関越道で事故を起こした会社と違い安全確保を重視している会社でも重大事故を防げなかった。国土交通省は昨年、運転手の病死が原因とみられるバス事故が続いたため、業界に健康管理の徹底を求めているが、今回の事故を受けて基準や事業者の対応に問題がないのか調べている。同省の調べでは全国の路線・貸切バスの運転手が病気で意識を失うなどして起きた重大事故が1993年は6件、2002年は17件に増えている。原因となる病気は脳梗塞やくも膜下出血などの脳疾患、心筋梗塞や心不全などの心疾患が多く、業界の健康管理が問われている。

JRバス関東本部は、バスの乗務労働の特殊性を組合員と議論しながら、「安全・健康・ゆとりが持てる職場環境確立」と「乗務員とお客様の命をまもるバス業界確立」に向けて職場からのたたかいを強化していきます。